



2022黒羽学園 コミュニティ・スクールだより NO3

R4. 9. 22 文責:広報部担当 須賀川小学校長 佐藤 慶子

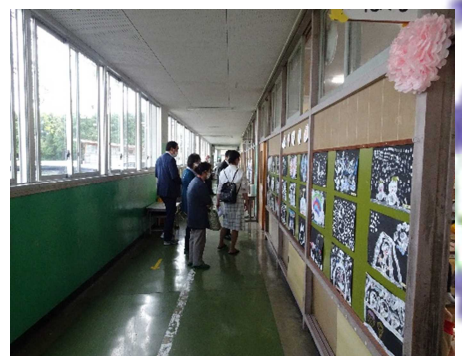
第3回黒羽中学校区学校運営協議会開催

9月21日(水)、川西小学校において、第3回学校運営協議会が開催されました。その協議会の様子や内容をお伝えします。

学校運営協議会では、各小中学校校長より運営委員の皆さんへ、小中一貫教育目標「黒羽の人と地を育む教育の実現」に向けた各校の取組が伝達されました。そして、その取組を受け、各地区ごとに分かれ、地域人材や資源の活用、学校を核とした伝統行事の復活、学校安全支援、小学校と中学校の連携の在り方、中学校と高等学校との連携等の話題について意見を交わしました。

会のはじめは、川西小学校の授業を参観しました。

子供たちは、一生懸命に考え、落ち着いて学んでいます。



各学校ごとに委員が集まり、熱心に意見を交わし合い、情報を共有しました。



↑川西小学校地区



↑黒羽小学校地区



↑須賀川小学校地区

両郷中央
小学校地区→



←黒羽中学校区



黒羽学園小中一貫教育目標

「黒羽の人と地を育む教育の実現」を目指した取組(各小中学校)



学校教育目標の目指すところに基づき、黒羽学園の目標達成に向けて、地域資源(人 施設 もの等)を活用した教育活動の充実に努めている。

総合的な学習の時間における取組(3~6年生)では、3年生のテーマを大田原市全体の視点から黒羽地区の視点へと変更した。また、川西地区生涯学習推進協議会との連携充実に努めている。

また、地域資源を活用した教育活動を今後も展開していく。今まで以上に地域についてふれたり、考えたり、よさを見つけたりする活動を今後も意識して継続する。



校訓:「学ぶに如かず」学校で学び 家庭で学び 地域で学ぶ

上記の校訓の元、日々の授業の中で「黒羽の人と地を育む教育の実現」を目指す。黒羽小学校の歴史を学ぶ作新館学習については、力を入れていきたい。また、黒羽地区生涯学習推進協議会との連携事業等、地域の人材を生かした学習では、地域の方々の力が、子供たちの学びを支えていることに感謝している。今後は、言葉や文章、ICT機器を使ってプレゼンできる力をつけさせたい。体験学習を通して、思いやりの心や働くことの喜びを育てたい。



教育目標「和を大切にする子」と関連づけ、自分とふるさとを愛し、思いやりをもつて人と接す子供を育てたい。そのために重視しているのは、「ふるさと学習」である。全校生による雲巖寺俳句教室や茶摘み体験、地域活性化に向けた学習等、体験のみに終わらせることなく、体験したことに基づき、考え、判断し、表現する力を養うことができる意義あるふるさと学習を継続していく。

また、その活動の意義や効果を家庭と地域と共有し、連携・協働することにより効果的なふるさと学習を実践し、黒羽の人と地を育む教育の実現を目指す。



全教職員が、黒羽学園教育目標や目指す子供像と両郷中央小学校の教育目標や目指す児童像の連携を意識して日々の教育活動の実践ができるようにしている。本校では、日々の「人を育む実践」と「地域ととにある学校づくり」を大切にしている。さくらんぼの皆さんの朝の読み聞かせ、書心会による習字指導、寿大学との交流会、ミシンボランティア等を実践している。地域の伝統である太鼓演奏は、9月から練習を開始し、昼休みも自主練習を行っている。今後も地域とともにある学校づくりに努めていく。



小学校での「地域のよさ」と「今後の地域」を学ぶ学習を踏まえ、総合的な学習の時間の見直しを行った。テーマは、「黒羽☆未来学 黒羽の地域と自分の生き方を考える」である。1年生は、黒羽の過去・現在を知る。他の地域との比較から考え、保護者に発表する予定である。2年生は、黒羽の人・職業を知る。地域の人との関わりを通して考え、保護者に発信したいと考えている。そして、3年生は、黒羽の未来を考える。これまでの学びをもとに考えた未来と自分たちについて地域に発信したい。地域の発信方法や発信の場の設定について検討している。